

## ハイドロジェルベイト剤の配布について（7月分）

令和5年度アシジロヒラフシアリー斉防除試験は、島内全地域（不参加地区および地区に属していない世帯等を除く）を対象に、5月から9月の毎月1回（全5回）実施する計画となっています。

### 7月の薬剤散布基準日は 7月30日(日) です

※天候やご都合により、散布が数日ずれても構いませんが、保管状態により1週間程度で殺虫成分が分解し効能がなくなりますので、受け取り次第早めに散布願います。

#### 薬剤の配達方法について

防除試験で使用する薬剤（ハイドロジェルベイト剤）は、散布基準日の前後数日を目安に、試験参加地区の希望者へ配布されます。※原則、建物1棟につき1袋（1リットル入り）

振興委員等の方が各世帯に配達する場合と、振興委員が指定した場所に各世帯が取りに行く場合がありますので、各地区の振興委員の指示に従ってください。

#### 薬剤の効果および散布方法について

- ・散布することで、1か月程度アリの活動を抑えることが期待できます。（昨年度実績より）
- ・急な雨や直射日光の当たりにくい場所（軒下・壁際・石垣など）を選ぶと効果的です。
- ・散布の跡が黒く残る場合があるため、玄関や屋内などには散布しないでください。
- ・アリがいる場所を中心に大さじスプーン1杯（約15g）を複数個所に散布してください。
- ・触れた手や使用した後のスプーンなどは水で洗い流してください。
- ・開封後は速やかに使い切り、空の容器は各自で燃やせるごみへ。



#### 配布する薬剤(ハイドロジェルベイト剤)について

八丈町と都立大学及び森林総研で共同開発中の、吸水性ポリマーに殺虫成分と喫食成分の砂糖水を含ませたジェルタイプの薬剤です。

本薬剤は人畜毒性が「普通物」に該当する安全性の高いもので、人に害を与えるものではありませんが、万一誤って口にした場合は、念のため医師に成分を告げてご相談ください。

また、イヌやネコなどのペットに影響が及ぶことはありませんが、誤食しないように気を付けてご使用ください。

殺虫成分：チアメトキサム（0.001%）

試験への参加申請がなかった地区（坂下の一部）などの世帯には薬剤が配布されません。ご了承ください。

＜裏面もご覧ください＞



#### ●お問合せ先

八丈町住民課環境係

電話：04996-2-1123（内線：142）

# アリ防除試験に関する よくあるお問い合わせ

## 薬剤の作製や配布の流れはどうなっているか？

各地域の婦人会に参加協力をいただき、町職員が中心に作製作業を行います。

各地区の振興委員は、散布基準日の2日前から薬剤を受け取ることが可能となりますが、最終的には振興委員が決めた日程や方法によって各世帯へ配布される流れになっています。

## 防除試験日(散布基準日)の前後不在で薬剤が受け取れない場合、どうすればよいか？

薬剤は、各地区振興委員の指示が特でない場合、原則各戸玄関先に配達されます。高温直射の屋外に数日放置してしまうと、薬剤の効能が無くなってしまいますので、お知り合いやご近所の方に一時保管してもらう、または代わりに散布してもらうなど各自で対処願います。

## 薬剤は届かず、何の連絡も来ない。試験に参加したいが、どうすればよいか？

本事業では、振興委員が広報を配達している世帯(地区に属している世帯)を主な対象として、振興委員に地区の必要数量をとりまとめいただいております。

地区によっては、転入者や事業者にも対応している場合がありますので、該当する地区の振興委員へご相談ください。所属する地区の振興委員の名前や連絡先がわからない場合は、住民課環境係へご相談ください。

## 集合住宅や官公庁施設などは、防除試験に参加できるか？

防除試験へ参加を希望する場合は、住宅管理担当者や施設管理担当者を通して住民課環境係へご連絡ください。指定された日時・場所での薬剤引取、散布にご協力をお願いします。

※坂下地域の町営団地については、薬剤散布可能な範囲で町が実施します。

## 薬剤が環境に与える影響は？

本薬剤(ハイドロジェルベイト剤)に含まれる殺虫成分は安全性が高く、アリを致死させるために必要なわずかな量だけが含まれており、植物や果樹への影響も特にありません。

一方で、昨年の上地地域での試験結果では、クワガタなどの小さな昆虫が死亡する事例を確認しています。小瓶や小皿に薬剤を入れネットをかぶせるなど、誤食を防ぐ対策に可能な範囲でご協力をお願いいたします。

なお、薬剤誤食による影響よりも、外来種であるアシジロヒラフシアリに生息地を奪われてしまうことの方が固有種昆虫への大きいダメージになると考えられるため、アシジロヒラフシアリを優先的に駆除するべきとのアドバイスを専門家より受けています。

## 散布が困難なため、薬剤の配布を断りたい(次回以降の試験に参加したくない)。

速やかに所属地区の振興委員へ不参加の旨を伝えてください。翌月以降は配布されません。

<裏面>